

実施計画変更認可申請の状況および今後の申請予定

No.	件名	変更箇所	申請日	申請番号	重複状況	補正申請の要否	対応状況
1	2号機PCV内部調査について	・V章 本文 添付2, 添付3, 添付7(新規記載)	H30.7.25	廃炉発官30 第139号	と重複	<p><input checked="" type="radio"/> 否</p> <p>【コメント反映】</p> <p>○7/30面談実施し、以下のコメントを頂いている状況。 ・PCV内部調査に用いる設備の耐震性を説明すること。 ・アームの実機投入に際し、事業者としてどのような検証や管理を実施し、現場に適用するのか説明すること。 ○9/3面談予定。 ○補正準備中</p> <p>【経緯】 <2018> ○7/25に変更認可申請、初回面談実施。1号機と同様のコメントをいただいております。9/13に面談にて回答。 ○下記コメントについて、9/27面談にて回答。 ・2重シール部の構造と漏えい有無の確認方法を示すこと。原子炉建屋エリアのダストについて、局排要否の判断基準を示すこと。 ○10/31に面談実施。下記コメントをいただいております。10/18に面談にて回答。 ・局所排風機の吸い口をどこに置か、各作業ステップの特徴から主旨を説明すること。バウンダリの損傷検知の手法について(2重リング間の圧力監視、ダスト監視)、使い分ける思想を説明すること。 <2019> ○1/18に補正および面談実施。 ○1/18面談にて下記コメントをいただいております。1/30の面談にて回答。一部未回答の内容について2/15に面談にて回答。 ・工事中断を判断するダスト濃度基準。調査終了後のバウンダリ・設備をどういった形で残すのか。 ○4/31に下記コメントをいただいております。4/18の面談にて回答。 ・面談資料「著しい漏えいがないこと」について、「漏えいがないこと」との違いを定量的に説明すること。 ・バウンダリ機能について、説明すること。各部屋との接続について、設計の詳細を説明すること。窒素加圧と空気置換について、使用気体を使い分けている考え方を説明すること。 ・今回の調査の目的と調査事項について、その詳細を説明すること。 ・内部調査時の窒素封入について、その目的や封入量など、その詳細を説明すること。 ・被ばく低減対策については、1号機の内部調査の申請の説明にならない、説明すること。 ○1号と同様に被ばく評価の見直しを実施中。別途補正を提出予定。 ○4/18の面談にて下記コメントをいただいております。4/19に回答。 ・ベテスタル内複数箇所にてガンマ線量率を測定し、堆積物表面のガンマ線量率を評価すること。 ○4/26に下記コメントをいただいております。5/22の面談にて回答。 ・γ線の測定のため、どんな測定器を使用するのか、どの箇所を測定するのか説明すること。 ○5/22, 6/25の面談にて下記コメントをいただいております。8/28の面談にて回答。 ・少量サンプリングをどこから、どのようなものを採取するのか説明すること。 ・バウンダリが機能しなくなった時の対応策について説明すること。 ○線量評価の対応状況について、8/28の面談にて説明。 ○3/26の面談にて、『AWJによるダスト飛散に係るデータ拡充試験の状況』を説明。 ○6/18に面談を実施。 ○線量評価について、評価の取り纏めを完了。</p>	
2	3号機 変形燃料用輸送容器の追加	・II章 2.11 本文 添付2-1-2, 添付2-2-1, 添付2-2-2 ・別冊7 ・別冊集目次	R1.8.20	廃炉発官R1 第77号	No.7 と重複	<p><input checked="" type="radio"/> 否</p> <p>【コメント反映】</p> <p>○補正準備中。</p> <p>【経緯】 ○8/20に変更認可申請及び面談を実施。 ○8/20の面談にて下記コメントをいただいております。9/5の面談にて回答。 ・7体又は2体の輸送キャスクにした根拠を説明すること。これまでの許認可範囲、これからの審査・認可される範囲を明確にすること。 ○9/5の面談にて下記コメントをいただいております。10/10の面談にて回答。 ・共用プールから3号機までの一連の作業をフロー等で示すこと。ハンドルの変形が大きい燃料について燃料形状を維持していると考えられる根拠を示すこと。 ○10/24の面談にて、除熱・遮へいの評価について説明。 ○11/21の面談にて、構造強度・密封性について一部説明。 ○次回面談にて、引き続き構造強度・密封性について説明予定。 ⇒12/6の面談にて説明。 ○1/14面談にて、以下のコメントを回答 実施計画の確認項目を踏まえた使用前検査の実施内容に関して、説明すること。 ○これまで頂いたコメントへの対応事項を整理し、2/27に面談にて説明を行い、以下のコメントを頂いております。6/12の面談にて回答。 ・輸送容器の一次蓋ボルトのトルク管理について、説明すること。除熱評価の上限温度について、根拠を説明すること。 ○3/9, 3/25に以下のコメントを頂いております。3/30, 6/12の面談にて、回答。 ・安全評価条件において、破損燃料の評価にも関わらず、健全燃料を用いて評価しているのか説明すること。本申請における破損燃料の定義を整理し、説明すること。 ○3/16に以下のコメントを頂いております。6/12の面談にて回答。 ・輸送容器に入れる破損燃料の状態を記載すること。安全評価の結果が破損燃料を考慮しても妥当であることを説明して頂きたい。 ○6/12に面談を実施し、以下のコメントを頂いております。6/26に面談を実施し、回答済み。 ・一般的な損傷燃料の定義を参考に、3号機の破損燃料の定義を説明すること。 ○7/16面談を実施し、コメントは頂いていない状況。</p>	

<p>3 減容処理設備の設置</p>	<p>・目次 ・II章 1.8 本文 2.46(新規記載) 本文、添付1～12 ・III章 第1編 附則 添付1 添付2 第2編 附則 添付2 添付2-1 第3編 2.1.3 2.2.2 2.2.4</p>	<p>R1.12.2</p>	<p>廃炉発官R1 第149号</p>	<p>No.4,10,12 No.4,5,6,9,10,11,13,14 No.4,5,9,10,11 No.4,9,12,15 と重複</p>	<p>【要】否 【コメント反映】 【既認可反映】 (原規規発第2002199号, 2005271号, 20070804号, 2008037号)</p>	<p>○7/13の面談にて以下のコメントを頂いており、8/6の面談にて回答。 ・電源の全停によるダスト飛散することを防止するため、排風機設置などの対策の検討を行って頂きたい。 ○8/6面談にて、以下のコメントを頂いている状況。 ・異常時に建屋外に放射性物質が飛散していないことを確認できるようにすること。 ・ダストモニタに有意な変動があった場合に対応できるようにすること。 ○9/3面談予定。 ○補正準備中 【経緯】 ○12/21に変更認可申請及び面談を実施。 ○12/13に面談を実施しており、コメントについてその場で回答。 ○12/2、12/19に下記コメントをいただいております、12/25の面談にて回答。 ・差圧異常高と低の基準と設定根拠について示すこと。 ・排気の濃度測定について管理基準値について示すこと。 ・減容処理設備による減容率50%について算出根拠を示すこと。 ・受け入れるガレキの表面線量率平均1mSv/hをどのように担保するのか示すこと。 ・空調設備等の電源系統の維持について、冗長性を持たせるのか、持たせない場合はその理由について説明すること。 ○12/25の面談にて、以下のコメントを頂いており、1/30の面談にて回答。 ・建屋/パウンダリとして耐震クラスCとしているが、空調もパウンダリとなると思う。どの範囲まで耐震Cクラスとしているのか、説明すること。 ○1/30の面談にて、以下のコメントを頂いており、3/9に面談にて回答を行ったが、再検討することとなり、6/15の面談にて回答。 ・受入廃棄物の条件(平均表面線量1mSv/h以下)は、耐震クラスを決めることに関係してくるので、実施計画に記載することも含め検討すること。 ・ベータ線の高い廃棄物の扱いについて、整理し説明すること。 ○6/15の面談にて以下のコメントを頂いており、7/13の面談にて回答。 ・大型金属処理室での作業内容について、詳細に説明すること。</p>
<p>4 除染装置スラッジ移送装置の設置</p>	<p>・目次 ・II章 2.5 本文 添付3 2.7 添付2, 添付3 2.47(新規記載) 本文、添付1～4 ・III章 第1編 附則 第2編 附則 第3編 2.2.2</p>	<p>R1.12.24</p>	<p>廃炉発官R1 第171号</p>	<p>No.3,9,11 No.8 No.8 No.3,5,6,7,9,10,11,13,14 No.3,5,9,10,11 No.3,9,12,15 と重複</p>	<p>【要】否 【コメント反映】 【既認可反映】 (原規規発第2002199号, 2005271号, 20070804号, 2008037号)</p>	<p>○12/24に変更認可申請及び面談を実施。面談にて下記コメントをいただいております、1/28に面談にて下線部について、回答。 ・線量評価などの前提条件と考え方を示すこと。 ・運転中の作業員被ばくや廃棄物発生量について、説明すること。 ・海外調達品の品質確保について、説明すること。 ○1/28の面談にて下記コメントをいただいております。 ・検査の考え方について、説明すること。 ○6/11に面談実施し、コメントは頂いていない状況。 【経緯】 -</p>
<p>5 実施計画III章第1・2編の第2条に関する変更</p>	<p>・III章 第1編 附則 別添(新規記載) 第2編 附則 別添(新規記載)</p>	<p>R2.3.30</p>	<p>廃炉発官R1 第171号</p>	<p>No.3,4,6,9,10,11,13,14 No.3,4,9,10,11 と重複</p>	<p>【要】否 【コメント反映】 【既認可反映】 (原規規発第2008037号)</p>	<p>○7/9のKKの審査会合にて、以下のコメントを頂いており、8/20の審査会合にて回答済み。 ・「原子力事業者としての基本姿勢」について、社長回答文書と当日の意見交換における議論を守るということを明文化すること。 ・基本姿勢を品質保証の中で履行することを条文中に明文化すること。 ○8/20の審査会合ではコメントは頂いていない状況。 ○8/26の規制委員会に附議され、以下のコメントを頂いている状況。 ・「安全上重要な事項をその決定プロセスを含めタイムリーに公表する」ことを保安規定に追記すること。 【経緯】 ○3/30変更認可申請。4/21の審査会合にて、以下のコメントを頂いており、7/9のKKの審査会合にて回答。 ・社長はその役割を果たすだけでなく、結果に責任を負うことが明記されていない。認可するには保安規定条文中にその点の明記が必要。 ○5/28規制委員会に附議され、6/2の審査会合にて規制委員会のコメントを頂いており、7/9のKKの審査会合にて回答。 ・7項目を遵守することを明確にすること。 ・リスクに対する体制と業務フローを明確にすること。</p>
<p>6 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備 輸送貯蔵兼用キャスクB増設(その2)</p>	<p>・II章 2.13 本文、添付1, 添付6 添付11 ・III章 第1編 附則 別冊8</p>	<p>R2.4.16 R2.7.6</p>	<p>廃炉発官R2 第14号 廃炉発官R2 第75号</p>	<p>No.3,4,5,9,10,11,13,14 と重複</p>	<p>【要】否 【コメント反映】 【既認可反映】 (原規規発第2008037号)</p>	<p>○8/28に面談を実施し、コメントは頂いていない状況。 【経緯】 ○4/16変更認可申請。4/17面談実施し、以下のコメントを頂いており、6/2の面談にて回答。 ・全体のスケジュールを具体的に示すこと。 ・エリアモニタなど計測器の仕様の考え方を説明すること。 ○7/6補正申請し、コメントは頂いていない状況。</p>

<p>7</p> <p>1号機 原子炉格納容器ガス管理設備凝縮配管空調取替工事 1号機 原子炉格納容器窒素封入ライン他除却工事 1号機燃料プール冷却浄化系ポンプ用電動機取替工事 増設雑固体廃棄物焼却設備一部設計変更</p>	<p>・II章 2.2 本文、添付1、添付2 添付3、添付11</p> <p>2.3 添付8</p> <p>2.8 本文</p> <p>2.44 本文、添付3、 添付7～添付13、 添付20</p> <p>別冊3 別冊6</p>	<p>R2.4.22</p> <p>R2.5.29</p> <p>R2.8.6</p>	<p>廃炉発官R2 第16号</p> <p>廃炉発官R2 第51号</p> <p>廃炉発官R2 第91号</p>	<p>と重複</p>	<p>要 否 【コメント反映】</p>	<p>○8/6に補正申請。(『増設雑固体廃棄物焼却設備 一部設計変更』を抱き合わせて申請。) ○8/17面談を実施し、以下のコメントを頂いている状況。 【増設雑固体廃棄物焼却設備 一部設計変更】 ・前処理施設から焼却設備へベルトコンベアで搬入することから、トラックによる搬入に変わったことによる搬入の導線を説明すること。 【上記以外の申請】 ・コメントなし ○9/3面談予定</p> <p>【経緯】 ○4/22変更認可申請。4/23に面談を実施し、以下のコメントを頂いており6/3の面談にて回答。 <1号機 原子炉格納容器ガス管理設備凝縮配管空調取替工事> ・取替工事中に運転している系が故障等により停止した場合の措置について、説明すること。 <1号機 原子炉格納容器窒素封入ライン他除却工事> ・本工事の配管の切断箇所や撤去範囲について、より具体的に示すこと。 ・配管切断作業の内容と、それに伴う計画被ばく線量について説明すること。 ○5/29変更認可申請(1号機燃料プール冷却浄化系ポンプ用電動機取替工事)。 ○6/3に面談を実施し、以下のコメントを頂いており、6/24面談にて回答。 <1号機燃料プール冷却浄化系ポンプ用電動機取替工事> ・工認での評価からどの点が変わったのか説明すること。</p>
<p>8</p> <p>高性能多核種除去設備使用済吸着塔及びサブドレン使用済み吸着材の再利用</p>	<p>・II章 2.5 本文 添付3 添付19 添付30</p> <p>・II章2.16.3 添付7</p> <p>・II章2.35 添付11</p> <p>・別冊5</p>	<p>R2.5.18</p>	<p>廃炉発官R2 第21号</p>	<p>No.4 No.4</p> <p>と重複</p>	<p>要 否 【コメント反映】 【既認可反映】 (原規規発第2005271号、20070804号、2007144号)</p>	<p>○8/25に以下のコメントを頂いている状況 ・サブドレン吸着材の再利用について、吸着材を抜き取った容器の扱いについて説明すること。 ・再利用品の交換基準について説明すること。</p> <p>【経緯】 ○5/18変更認可申請。 ○5/22、6/18に面談を実施し、コメントを頂いていない状況。</p>
<p>9</p> <p>放射性物質分析施設第2棟の設置</p>	<p>・目次</p> <p>・II章 2.48(新規記載) 本文、添付1～22</p> <p>・III章 第1編 附則 第2編 附則 第3編 2.2.2</p>	<p>R2.5.20</p> <p>R2.6.30</p>	<p>廃炉発官R2 第22号</p> <p>廃炉発官R2 第67号</p>	<p>No.3,4,11</p> <p>No.3,4,5,6,10,11,13,14</p> <p>No.3,4,5,10,11</p> <p>No.3,4,12,15</p> <p>と重複</p>	<p>要 否 【コメント反映】 【既認可反映】 (原規規発第20070804号、2008037号)</p>	<p>○7/15,7/29,7/30面談実施し、以下のコメントを頂いている状況。 ・廃棄物の扱いについて、全体取り纏め説明すること。 ・施設全体の安全設計について説明すること。 ○8/27に面談を実施し、コメントは頂いていない状況。 ○9/4に面談予定。</p> <p>【経緯】 ○5/20変更認可申請。 ○5/25、6/4、6/16に面談を実施し、以下のコメントを頂いており、6/30の面談にて回答。 ・燃料デブリ取り出しから分析施設での分析するまでの一連の流れを詳細に説明すること。 ○6/24、6/30、7/2面談を実施し、以下のコメントを頂いており、7/15,7/29,7/30の面談にて回答。 ・外部火災の影響について、説明すること。 ・分析後の廃棄物の扱いについて、説明すること。 ・建物の共振について、問題がないことを説明すること。</p>
<p>10</p> <p>放射性廃棄物処理設備の運転を行う協力企業従業員への保安教育内容明確化に伴う保安措置の変更</p>	<p>・III章 第1編 附則 第2編 附則</p>	<p>R2.5.21</p>	<p>廃炉発官R2 第47号</p>	<p>No.3,4,5,6,9,11,13,14</p> <p>No.3,4,5,9,11</p> <p>と重複</p>	<p>要 否 【コメント反映】 【既認可反映】 (原規規発第2008037号)</p>	<p>○7/21に以下のコメントを頂いており、8/7の面談にて回答。 ・今回の変更箇所が保安教育のどの範囲になるのか示すこと。 ○8/7の面談にてコメントは頂いていない状況。</p> <p>【経緯】 ○5/21変更認可申請。 ○6/5、6/19に面談を実施し、コメントを頂いていない状況。</p>

11	福島第一原子力発電所 規則改正に伴う変更	<ul style="list-style-type: none"> 目次 Ⅲ章 第1編 附則 第2編 附則 第3編 1.6 別冊集目次 	R2.6.29	廃炉発官R2 第71号	No.3,4,9 No.3,4,5,6,9,10,13,14 No.3,4,5,9,10 No.2 と重複	<input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 否 【コメント反映】 【既認可反映】 (原規規発第 2008037号)	○6/29変更認可申請し、併せて面談を実施。以下のコメントを頂いている状況。 ・規制要求をどのように実施計画に落とし込んだのか整理し、説明すること。 ○9/7面談予定 ○補正準備中 【経緯】 -
12	大型廃棄物保管庫への使用済 吸着塔架台他設置	<ul style="list-style-type: none"> Ⅱ章 2.45 本文 添付7 添付13 Ⅲ章 第3編 2.2.2 	R2.7.22	廃炉発官R2 第79号	No.3,4,9,15 と重複	<input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 否	○7/22変更認可申請及び面談を実施し、以下のコメントを頂いている状況。 ・架台の構造図、接続方法等を示し、解析モデルの妥当性を説明すること。 ・耐震性評価に用いている応答スペクトルの設定方法を示し、妥当性を説明すること。 【経緯】 -
13	1F運転上の制限に係る実施計 画Ⅲ章第1編の変更	<ul style="list-style-type: none"> Ⅲ章 第1編 附則 	R2.8.11	廃炉発官R2 第97号	No.3,4,5,6,9,10,11,14 と重複	<input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 否	○8/11変更認可申請を実施。8/12,8/27に面談を実施し、コメントは頂いていない状況。 【経緯】 -
14	当直体制の見直しに伴う実施計 画変更	<ul style="list-style-type: none"> Ⅲ章 第1編 附則 Ⅲ章 第3編 1.2 	R2.8.18	廃炉発官R2 第99号	No.3,4,5,6,9,10,11,13 と重複	<input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 否	○8/18変更認可申請を実施。8/28に面談を実施し、以下のコメントを頂いている状況。 ・当直体制を見直す目的とその妥当性について具体的に説明すること。 【経緯】 -
15	5/6号機サブドレン設備設置 メタルラッド開閉装置における 地絡しゃ断導入に伴う変更	<ul style="list-style-type: none"> Ⅱ章 2.7 本文 添付6 Ⅱ章 2.35 本文 添付1 添付15 Ⅲ章 第3編 2.2.2 	R2.8.19	廃炉発官R2 第100号	No.3,4,9,12 と重複	<input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 否	○8/19変更認可申請を実施。8/20に面談を実施し、コメントを頂いていない状況。 【経緯】 -

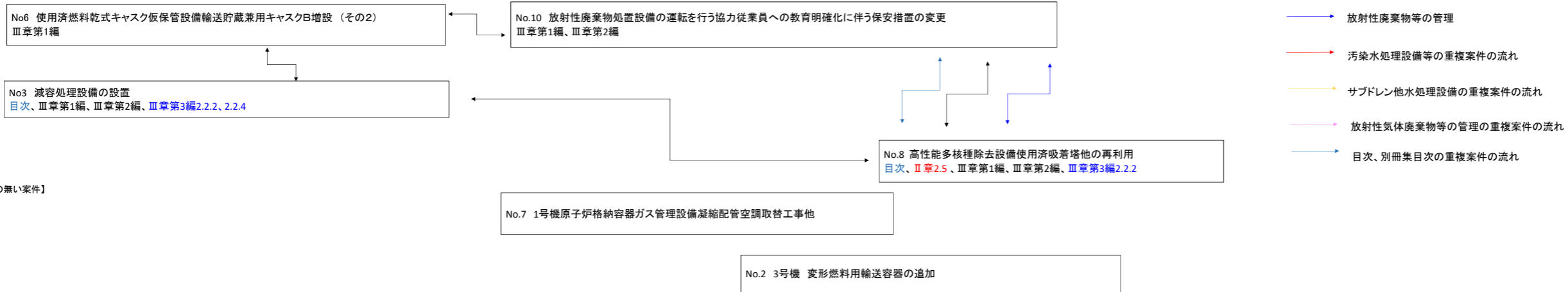
No.	件名	変更予定箇所	申請予定時期		備考
①	放射性固体廃棄物発生量予測の更新	・Ⅲ章第3編2.1	R2.9		【概要】 2022年度までの廃棄物発生量予測の更新を行う。
②	3号機 燃料の取扱いに関する記載変更について(破損燃料分)	・Ⅱ章2.11	R2.9		【概要】 3号機使用済燃料プール内の破損燃料の取り扱い方法について実施計画記載の変更。 「共用プールにおける使用済燃料収納缶(大)の取り扱い」、「1号機液体窒素貯留および廃液サージタンク撤去」と合わせて申請する予定。
③	共用プールにおける使用済燃料収納缶(大)の取り扱い	・Ⅱ章2.12	R2.9		【概要】 共用プールで天井クレーンを用いて使用済燃料収納缶(大)に入れた使用済燃料を取り扱うため、遮へい水深の確保方法に関する変更。 「3号機 燃料の取扱いに関する記載変更について(破損燃料分)」、「1号機液体窒素貯留および廃液サージタンク撤去」と合わせて申請する予定。
④	1号機液体窒素貯留および廃液サージタンク撤去	・Ⅱ章2.11	R2.9		【概要】 1号機燃料取出のためのヤード整備にあたり、1号機脇に設置されている液体窒素貯留と廃液サージタンク撤去を実施。 「3号機 燃料の取扱いに関する記載変更について(破損燃料分)」、「1号機液体窒素貯留および廃液サージタンク撤去」と合わせて申請する予定。
⑤	多核種除去設備スラリー安定化処理設備設置	・Ⅱ章2.49(新規追加) ・Ⅲ章第1編 ・Ⅲ章第2編 ・Ⅲ章2.2.2	R2.9		【概要】 多核種除去設備(ALPS)及び増設多核種除去設備(増設ALPS)で発生したスラリー(HICで保管中)を安定化(脱水)処理するための設備を設置する。
⑥	セシウム吸着塔一時保管施設に関する変更	・Ⅱ章2.5 ・Ⅲ章2.2.2	R2.9		【概要】 セシウム吸着塔一時保管施設(第三施設)について、高性能容器(HIC)の保管容量の更なる確保のため、現状未使用のKURION等64基分のボックスカルバートをHIC格納用ボックスカルバートへ変更する。
⑦	放射性物質分析施設第1棟の運用開始に伴う管理対象区域他の変更	・Ⅲ章第1編	R2.10		【概要】 第1棟の運用開始に伴い、現行の実施計画の管理対象区域及び管理区域を変更する。

⑧	3号機原子炉格納容器取水設備設置工事	確認中	R2.10			<p>【概要】 3号機原子炉建屋と廃棄物処理建屋へPCV水位低下設備（ポンプ、弁、配管）を設置し、サブプレッションチェンバ（S/C）の耐震性向上策として段階的なPCV水位低下を計画するもの。</p>
⑨	建屋滞留水の定義変更に伴う実施計画変更	・Ⅲ章第1編	R2.10			<p>【概要】 床面以下に貯留する残水について一部管理方法の変更に伴う実施計画Ⅲ章の変更。</p>
⑩	No.3.4重油タンク解体工事	確認中	調整中			<p>【概要】 No.3.4重油タンクおよび関連設備について、今後使用しないことから撤去を実施する。</p>

現状の審査状況を踏まえた優先案件の整理

【重複箇所のある案件】

優先度:高



【重複箇所のない案件】

【実施計画一覧表】

I 特定原子力施設の全体工程及びリスク評価	1 全体工程	1.1	全体工程 1~4号機の工程	
		1.2	5・6号機の工程	
2 リスク評価		2.1	リスク評価の考え方	
		2.2	特定原子力施設の敷地境界及び敷地外への影響評価	
1 設計、設備について考慮する事項		2.3	特定原子力施設における主なリスク	
		2.4	特定原子力施設の今後のリスク低減対策	
		1.1	原子炉等の監視	
		1.2	残留熱の除去	
		1.3	原子炉格納施設雰囲気等の監視等	
		1.4	不活性雰囲気等の維持	
		1.5	燃料取出し及び取り出した燃料の適切な貯蔵・管理	
		1.6	電源の確保	
		1.7	電源喪失に対する設計上の考慮	
		1.8	放射性固体廃棄物の処理・保管・管理	
		1.9	放射性液体廃棄物の処理・保管・管理	
		1.10	放射性気体廃棄物の処理・管理	
		1.11	放射性物質の放出抑制等による敷地周辺の放射線防護等	
		1.12	作業者の被ばく量の管理等	
	1.13	緊急時対策		
	1.14	設計上の考慮		
II 特定原子力施設の設計、設備		2.1	原子炉圧力容器・格納容器注水設備	
		2.2	原子炉格納容器内窒素封入設備	
		2.3	使用済燃料プール設備	
		2.4	原子炉圧力容器・格納容器ホウ酸水注入設備	
		2.5	汚染水処理設備等	
		2.6	滞留水を貯留している(滞留している場合を含む)建屋	
		2.7	電気系統設備	
		2.8	原子炉格納容器ガス管理設備	
		2.9	原子炉圧力容器内・原子炉格納容器内監視計測器	
		2.10	放射性固体廃棄物等の管理施設	
		2.11	使用済燃料プールからの燃料取り出し設備	
		2.12	使用済燃料共用プール設備	
		2.13	使用済燃料乾式キャスク仮保管設備	
		2.14	監視室・制御室	
		2.15	放射線管理関係設備等	
		2.16.1	多核種除去設備	
		2.16.2	増設多核種除去設備	
		2.16.3	高性能多核種除去設備	
		2.16.4	高性能多核種除去設備検証試験装置	
		2.17	放射性固体廃棄物等の管理施設及び関連施設(雑固体廃棄物焼却設備)	
	2 特定原子力施設の構造及び設備、工事の計画		2.18	5・6号機に関する共通事項
			2.19	5・6号機 原子炉圧力容器
			2.20	5・6号機 原子炉格納施設
			2.21	5・6号機 制御棒及び制御棒駆動系
			2.22	5・6号機 残留熱除去系
		2.23	5・6号機 非常用炉心冷却系	
		2.24	5・6号機 復水補給水系	
		2.25	5・6号機 原子炉冷却材浄化系	
		2.26	5・6号機 原子炉建屋常用換気系	
		2.27	5・6号機 燃料プール冷却浄化系	
		2.28	5・6号機 燃料取扱系及び燃料貯蔵設備	
		2.29	5・6号機 非常用ガス処理系	
		2.30	5・6号機 中央制御室換気系	
		2.31	5・6号機 横内用輸送容器	
		2.32	5・6号機 電源系統設備	
		2.33	5・6号機 放射性液体廃棄物処理系	
		2.34	5・6号機 計測制御設備	
		2.35	サブドレン他水処理施設	
		2.36	雨水処理設備等	
		2.37	モバイル型ストロンチウム除去装置等	
		2.38	RQ濃縮水処理設備	
		2.39	第二モバイル型ストロンチウム除去装置等	
		2.40	放水路浄化設備	
		2.41	放射性物質分析・研究施設 第1棟	
	2.42	大型機器除染設備		
	2.43	油処理装置		
	2.44	放射性固体廃棄物等の管理施設及び関連施設(増設雑固体廃棄物焼却設備)		
	2.45	大型廃棄物保管庫		

III 特定原子力施設の保安	第1編(1号炉,2号炉,3号炉及び4号炉に係る保安措置)		1号炉,2号炉,3号炉及び4号炉に係る保安措置
	第2編(5号炉及び6号炉に係る保安措置)		5号炉及び6号炉に係る保安措置
第3編(保安に係る補足説明)	1 運転管理に係る補足説明		1.1 巡視点検の考え方 1.2 火災への対応 1.3 地震及び津波への対応 1.4 豪雨、台風、竜巻への対応 1.5 5・6号機 滞留水の影響を踏まえた設備の運転管理について 1.6 安全確保等の運転責任者について 1.7 1~4号機の滞留水とサブドレンの運転管理について 1.8 地下水ドレンの運転管理について
	2 放射性廃棄物等の管理に係る補足説明	2.1	放射性廃棄物等の管理
	3 放射線管理に係る補足説明	3.1	放射線防護及び管理
	4 保守管理に係る補足説明	4.1 4.2	保安計画策定の考え方 5・6号機 滞留水の影響を踏まえた設備の保守管理について
IV 特定核燃料物質の防護			特定核燃料物質の防護
V 燃料デブリの取出し・廃炉			燃料デブリの取出し・廃炉
VI 実施計画の実施に関する理解促進			実施計画の実施に関する理解促進
VII 実施計画に係る検査の受検			実施計画に係る検査の受検
別冊		1	
		2	
		3	
		4	
		5	
		6	
		7	
		8	
		9	
		10	
		11	
		12	
		13	
		14	
		15	
		16	
		17	
		18	
		19	
		20	
		21	
		22	
		23	
		24	

過去のコメントへの対応状況

ハッチング・・・回答済、下線・・・追加・変更

1. 重要課題に関するコメント対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
建屋滞留水の処理	2020年度ではサブドレン水位がかなり低下している状態でもサプレッションチェンバ内包水流出時に水位逆転させないようにすること（第69回）	未回答
	3号機サプレッションチェンバ内包水の移送方法を示すこと（第69回、第71回）	第75回会合にて回答
	建屋の水位を低下させたときに地下水の建屋流入量の変化を確認し、貫通部の位置など流入量抑制のためのデータを蓄積すること。（第70回、第79回）	第74回会合にて回答（継続）
	3号機の南東三角コーナーの水位低下の停滞について、何を検討しているか、いつまで、どういう状態まで様子を見るのか説明すること（第71回、第72回）	第73回会合にて回答
	サブドレン水位と建屋地下水流入量の関係性を評価すること（第72回）	第74回会合にて回答
	滞留水中の高濃度α核種への対応について説明すること（第74回）	第77回会合にて回答（継続）
	4号機タービン建屋滞留水の水位低下の前倒しを検討すること（第74回）	第77回会合にて回答
	3号機サプレッションチェンバの耐震性向上のための水位低下策の完了時期を踏まえ、漏えい事象発生時の対応方法を検討し説明すること（第75回）	第78回会合にて回答
	3号機サプレッションチェンバ内滞留水の漏えいリスクについて、サブドレン水位を低下させた場合の評価及び対応について検討すること（第78回）	未回答
	3号機サプレッションチェンバ内滞留水について、炉注水停止試験の結果等も踏まえて検討すること（第78回）	未回答
	プロセス主建屋地下階のゼオライト土のう処理等の安定化に関する方策と水位低下時における外部への線量影響評価の結果を説明すること（第75回）	第76回及び第78回会合にて回答（継続）
	将来的にサブドレン水位が海水位より低くなる場	別途面談で対

	合を想定し、長期的に検討が必要な事項を説明すること	応
	建屋内スラッジへの対応について、検討すること（第 78 回）	未回答
	長期的な地下水流入抑制策として、建屋の防水加工について検討すること（第 78 回）	未回答
	<u>各号機の建屋間の連通がなくなっている状況において建屋への地下水の流入量を評価し説明すること（第 81 回）</u>	未回答
放射性物質分析能力の向上	分析第 2 棟の分析項目が選定された経緯について詳細を示すこと（第 69 回）	第 72 回会合にて回答
	採取した試料を茨城県へ運搬する方法について説明すること（第 69 回）	未回答
	核燃料物質の保障措置について示すこと（第 69 回）	未回答
	事故進展に必要な分析項目も追加すること（第 72 回）	未回答
	放射線管理部門の人員リソースを強化すること（第 72 回）	第 78 回会合にて回答
	構外施設の分析状況について示すこと、また、そこで得られた知見をどのように構内における分析にフィードバックするのかを説明すること（第 79 回）	未回答
雨水流入対策	豪雨に対するリスク対応を説明すること（第 70 回）	第 74 回会合にて回答
	豪雨時に 8.5m 盤から流れる水によって 2.5m 盤の地下水水位が 2.5m より高くないことを評価すること（第 70 回）	第 74 回会合にて回答
	過去の豪雨発生時に、建屋内漏えい検知器の作動と建屋水位上昇が同時に発生し、運転員が対処できなくなったことがあったが、このような事態への対応、体制はどうなっているのか（第 70 回）	未回答
	サブドレン水位計の保守管理をどのように行っているか説明すること（第 70 回）	第 74 回会合にて回答
	応急的な雨水流入対策について検討結果を示すこと（第 70 回）	第 74 回会合にて回答

	建屋山側のフェーシングについて、リチャージ機能を考慮した実施の可否を検討すること（第 70 回）	第 74 回会合にて回答
	雨水浸入解析なども活用した雨水流入対策について全体的な説明をすること（第 74 回）	別途面談で対応
1号機 SFP からの燃料取り出し	大型カバーの設置について、荷重評価や遮蔽等の設計の概念について説明すること（第 78 回）	未回答
2号機 SFP からの燃料取り出し	オペフロの汚染密度分布調査について、汚染が遊離性であるか固着性であるのか見極められる調査方針を示すこと（第 71 回）	第 75 回会合にて回答

2 . 重要課題以外のコメント対応

分類	コメント内容	事業者の回答
地下水の建屋内流入抑制	放射能濃度の高いサブドレン 204 及び海側サブドレンへの対応を示すこと（第 69 回）	別途面談で対応
	K 排水路からの地下水への流入について、今後の調査結果を示すこと（第 69 回）	別途面談で対応
	1/2 号排気筒西側の地盤改良を行う場合はリチャージジュエルの注水機能を確保すること（第 69 回）	別途面談で対応
	1/2 号排気筒周辺サブドレンのトリチウム濃度が高いことについて、排気筒のドレンサンプル以外に供給源がある可能性についても考慮すること（第 69 回）	別途面談で対応
	建屋周辺の地下水解析モデルに基づくトリチウム濃度の評価結果について、解析の前提条件を整理すること（第 69 回）	別途面談で対応
3号機 SFP からの燃料取り出し	品質管理体制の強化について、実施した内容を説明すること（第 70 回）	第 76 回会合にて回答
	SFP ラック上のがれき撤去を早く進め、燃料ハンドルの全体的な変形状況を確認すること（第 71 回）	第 73 回会合にて回答
	燃料取扱機（FHM）からの作動流体漏洩事象について再発防止に向けて、視点を変えて深く点検方法及び点検項目を検討すること。（第 73 回）	第 74 回会合にて回答
	変形燃料の取り出しに向けた具体的な計画を説明すること。（第 73 回）	第 74 回会合にて回答

	変形燃料に対する安全対策等について示すこと(第77回)	第80回会合にて説明(継続)
	瓦礫の衝突解析について、詳細を示すこと(第80回)	別途面談で対応
1/2号排気筒下部の高線量箇所的位置	高線量箇所について遮へい又は撤去すること(第70回)	第79、80回会合にて回答(継続)
	排気筒から雨水がピットに流入することを防止するため、対策を検討すること(第77回)	第80回会合にて回答
	<u>排気筒ドレンサンプピットの具体的な調査内容を示すこと。(第81回)</u>	<u>別途面談にて対応</u>
	<u>排気筒ドレンサンプピット内部への汚染の供給源を今後特定し説明すること(第81回)</u>	未回答
1/2号機タービン建屋海側下部透水層におけるトリチウム検出	検出されたトリチウムが新たに建屋から漏れ出たものか監視を継続するとともに、網羅的・システムチックな測定を行うことを検討すること(第70回、第77回)	未回答
LCO要件の見直し	1Fの現状を踏まえたLCOを検討し、早期に実施計画に反映すること(第71回、第77回、第80回)	<u>第77回、第81回会合にて回答(継続)</u>
1/2号排気筒解体	1/2号排気筒サブドレン208を止めることの影響について説明すること(第72回)	第74回会合にて回答
	不具合に対するアセスメントを行い、作業を見直すこと(第74回)	第75回会合にて回答
	1/2号機排気筒の下部の解体計画を示すこと(第80回)	未回答
建屋開口部の閉塞	開口部の閉塞について、作業を進める優先順位及びその考え方を示すこと(第77回、第80回)	<u>第81回会合にて回答</u>
	<u>開口部の閉止から堰などによる水の流出入抑制対策に切り替える箇所について、閉止ができないことによる影響を説明すること(第81回)</u>	未回答

	<u>海側にあるサブドレン集水タンク等の重量物が津波の漂流物となり止水部に衝突した場合の影響について説明すること（第 81 回）</u>	未回答
固体廃棄物の再利用	再利用の用途（屋外か屋内かなど）によって目安線を定めるなど、再利用に係るロジックを説明すること（第 73 回）	未回答
廃棄体の放射能濃度測定	スラッジ、スラリーを廃棄体に処理した際の放射能濃度の確定方法について検討すること（第 73 回）	未回答
ALPS スラリーの安定化処理設備の設置場所	ALPS スラリーの安定化処理設備の具体的な設置場所を説明すること（第 73 回）	未回答
HIC の健全性確認	HIC の健全性について定期的に確認し、異常がないことを確認すること。 また、異常が確認された場合の手順を検討しておくこと（第 73 回）	未回答
長期保守管理計画	追加対策の検討フローによる評価において、具体例を示すことや現場の意見も反映して共通理解を得るようにすること（第 74 回）	第 79 回会合にて回答（継続）
	長期保守管理計画の全体像を示すこと（第 79 回）	未回答
組織体制の強化	2020 年度に実施する福島第一廃炉カンパニーの体制強化について、その効果を評価し、今後の検討会において説明すること（第 78 回）	未回答
中期的リスクの低減目標マップに係る進捗状況	リスクマップの改訂を反映したリスク低減に係る計画を示すこと（第 79 回）	第 80 回会合にて回答
	除染装置スラッジの移送について、当初の計画から遅れが生じることとなった理由を説明すること（第 79 回）	第 80 回会合にて回答
	除染装置スラッジの移送など、取りまとめ次第提示と記載のある項目について、今後、検討状況を説明すること（第 80 回）	未回答
	2020 年末にタービン建屋等の建屋のドライアップ後の工程及び汚染水発生量の低減に係る工程についても、工程表に示すこと（第 80 回）	未回答

ALPS 処理済水の全 値と主要 7 核種の合計値の乖離	ALPS 処理済水の分析について、告示濃度限度比への寄与の大きさも含めて、測定対象とする核種選定に係る全体的な方針を示すこと（第 79 回）	未回答
高濃度の地下水	2.5m 盤の地下に存在する高濃度の地下水への対応を検討すること（第 79 回）	T.P.2.5 m 盤の環境改善にて対応
建屋の耐震性	3、4 号機の建屋の耐震性について、建屋の長期的な劣化を考慮した調査及び評価を行い、その結果を示すこと（第 79 回）	未回答
1/2 号機 SGTS 配管撤去	<u>今回の線量調査と過去の線量調査の結果が整合しない部分があることから追加の調査を実施し、汚染箇所をしっかりと特定すること。（第 81 回）</u>	未回答
	<u>間接的な測定、評価手法も用いて、配管内の汚染密度、現場の空間線量率など全体像を把握すること。（第 81 回）</u>	未回答
	<u>配管撤去時の作業管理、撤去後の保管方法などについて今後説明すること。（第 81 回）</u>	未回答